

2023年12月24日(日)

老球の細道766号

後進を育てる

会津バスケットボール協会 室井 富仁

今は亡き祖父は「明治」「大正」「昭和」と3時代を生きて来た。「凄いなー」と子どもの頃には感心していたが、私も今は「昭和」「平成」「令和」の3時代を生きている。運が良ければ、もう1時代プラス α になるかもしれない。

最近何かと昭和が懐かしがられる風潮がある。昭和は戦争、戦後の逆境からの復興、高度経済成長と歴史のどん底から頂点までを一気にかけ進んで来た。また昭和は歌謡曲全盛の時代でもあった。最近の歌番組などでも『そのとき、歌は流れた一時代を彩った昭和名曲』とか『昭和歌謡ベストテン』などが放映されている。幼少の頃から歌謡曲好きの私はこれらの番組から流れる曲を聴きながら悪ガキ時代や学生時代を懐かしく思い出す。

またまた昭和は「男たる者かくあるべし」と男は男らしく、女は女らしくの価値観を求めた時代でもあった。私も例に漏れない。当時誰が言ったか忘れたが「男には5つのHがある」というのがあった。1つ目は「歯(H)」、歯を食いしばって頑張る時期。2つ目は「覇(H)」、天下を狙う。全国制覇を目指し、広い世界へチャレンジする時期。3つ目は「派(H)」、自分の後進、後継者を育てる時期。4つ目は「引(H)く」、潮時の潔さ、むずかしいかもしれない。そして最後の5つ目は「ほんとうのH」。

先日県協会主催のリフレッシュ講習会が開催された。前号でも書いたが、この講習会に私がかつて勤務していた喜多方女子高校、会津高校、坂下高校、葵高校、会津短大の卒業生が参加していた。いずれも学生時代は皆優秀な選手であると同時に情熱と誠実さを兼ね備えた生徒たちであった。卒業してからもバスケットボールの指導者として関わり続け、常に学ぶことを忘れない姿勢に感動した。

「己の夢に引退はなし」をスローガンに掲げる私に残された仕事は、後進、後継者を育てることである。自分もまだまだ未熟なくせに後継者などと偉そうなことを言えないが、「地産地消で全国、世界へ」の夢半ばで挫折するようなことがあったら、後は後進に道を託すしかない。関東大震災後の東京を見事に復興させた明治、大正の政治家・後藤新平の有名な言葉に次のようなものがある。「金を残して死ぬのは下。事業を残して死ぬのは中。人を残して死ぬのは上だ」。

後進に望む。勝てる可能性が少ないとわかっているけど、すべての試合で勝利を目指し努力し、選手が肉体的、精神的、社会的に成長することを助ける。何試合に勝つのかではなく、何人の若者を人生の成功者に育てるか。勝利を目指すことは、試合を楽しむのに絶対欠かせない。勝つことがすべてではなく、勝利を目指し努力することがすべてである。

「これでいい・・・そう思うのは、もう少し先にのぼして。あの日のように・・・そう思える今日を、積み上げてゆこう。いつの日か、今をふりかえった時に、光り輝くものが、たくさん残るように・・・」〈2006年「体育科教育」〉